

タイ語専攻 モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30	◆ 基礎演習 I	● タイ語基礎 I (b)	■ アジア研究入門	▲ Freshman English I (ML)	▲ アカデミック英語 I	
2時限 10:40-12:10		■ タイ研究入門	● タイ語基礎 I (c)	体育・スポーツ		
3時限 13:10-14:40	● タイ語基礎 I (a)	■ 東南アジア政治経済論 I	▲ アカデミック英語 I	● タイ語基礎 I (d)	● タイ語基礎 I (e)	
4時限 14:50-16:20	▲ Freshman English I (ML)				▲ ビジネス英語 I	
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ● =地域言語科目 ▲ =英語科目 ■ =研究科目 ◆ =基盤教育科目

▶1年次 (前期)

アジア言語学科のインドネシア語、ベトナム語、タイ語専攻は同じカリキュラムの形式をとっており、東南アジア地域言語と英語を同じ比率で学びます。

1年次には地域言語を週5回、英語を週4回、必修科目として履修します。

「タイ語基礎」では、タイ語の文字と発音を一つずつ覚えるところから始めます。タイ人教員の授業では、旅行先や病院など、いろいろなシチュエーションで使われるタイ語にふれながら、実践的な力を身につけていきます。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30						
2時限 10:40-12:10	● タイ語総合 -1			哲学 I		
3時限 13:10-14:40	■ 東南アジア史 I	■ タイの文化・芸術	● タイ語総合 -2	■ タイの政治・経済 I	● タイ語総合 -3	
4時限 14:50-16:20		▲ English for Multicultural Communication		● タイ語応用 I	▲ English for Multicultural Communication	
5時限 16:30-18:00		○ 研究演習	■ 文化について考える			

必修・選択必修 ● =地域言語科目 ▲ =英語科目 ■ =研究科目 ○ =演習科目

▶3年次 (前期)

3年次の地域言語科目は「タイ語応用」(3・4年選択必修)と、「タイ語総合」(3・4年必修)を履修します。

実践的な授業を通し、2年次修了時までに会話力と文化理解を深めます。「タイ語総合」は、内容の異なる授業が複数開講されており、民話、ビジネス会話、手紙・メール、観光案内、討論、雑誌講読など、扱うテーマは多岐にわたり、語学力と教養を同時に身につけていきます。

英語必修科目「English for Multicultural Communication」は、他言語専攻の学生と混合クラスで週2回行われます。内容の異なる授業が複数開講されており、学びたいテーマの中から選択します。